

郷の集い

発行 小学校部
新郷文芸会
編集責任者 森崎 穆
印刷 久野印刷機

心の脱皮

校長 林

五十二

卒業を目前にしている六年生の皆さんには、早くも中学校への期待で胸をふくらませていることでしょう。

変体して美しいちょうになつて、花から花へと舞い春の野山を飾り私たちを楽しませてくれます。人間の一生もこれにとてもよく似ているではありませんか。

なり、自分の選んだ職業につき、家庭をつくり、豊かな住みよい郷土や楽しい社会や国づくりに励むわけです。

小学部の卒業はちょうど青虫が脱皮して三令に成長していく頃に当るのではないのでしょうか。皆さんにと

気をとられないで、今、自分は何をするのが良いのかを決めなければならないかもしれません。大人でも服装や髪型が流行に流されているのをよく見かけますがなかなかいいことでは、正しいと信じていることも多いと聞きます。

山崎 ぼくは、外国にいき、牧場を作り、自家用飛行機を買って、牛や馬を、たくさん飼ひ、緑がたくさんある牧場を作りたい。

伊藤 ぼくは、将来、お金をためて、世界一周したい。そして、世界一有名な学者になつて、いろいろな機械を發明したり、死んでも生き返るような薬を作つたりして、みんなのためになりたい。

寺地 私は、みせ屋のお手伝いさんになりたい。中学の時は、有名なパレートの選手になつてがんばりたい。



一年をかえりみて

会長 坪田 万右工門

日一日と暖かくなつて参りました。会員の皆様にはお変わりございませんか。

き度いと思ひます。今年も国際児童年、子供のことを考へて言ひまわつていきたいと思います。

い子になるよう「愛の一言」を願ひます。次に、学校給食は今年も半額町費助成になりました。

吉江 ぼくは、将来、動物学者になりたい。ライオンやトラなど、最近へつてきているので、これらの動物を多くするのは、研究が必要だから、しっかり研究して、ライオンやトラの役に立ちたいと思ふ。

大久保 将来、父のあとをついで理よう店をやつ、大きな店にしたい。

高戸 ぼくは、将来、外国の水族館で、魚のしくをして多くの魚を友だちになりたい。そして、大金持ちになつて有名な水族館の館長になつてみたい。

来るような中味に積上げて行く。念願の学校建設も土地改良事業工事の進展にとまらぬ敷地も形造られて来ました。又、関係者の御努力により買上げの方も話が進んでいるそうです。本当に皆々様の心情にお報い出来るような中味に積上げて行く。

親子がいっしょに話合へ、そして考へて行く家庭には不幸はないと思ひます。物の言へない子でも親の顔色を見ながら行動します。温かい血の通う心には反抗的な子でも必ずわかってくると思ひます。どうか、い

岡田 ぼくは、将来、科学の研究をして、人々に役立つ機械を發明したい。例えば、一万年人間が生きられるような機械を發明したり、機械の力で一年や二年後の人間の生活が分かるすてい機械などを發明したいのだ。

山崎 ぼくは、世界的な社長になつて、世界中を回つてみたい。そして、牧場を作つてくらしたい。老後は、外国に家をつくり、そこで、ゆつくりくらしたい。

山崎 ぼくは、世界的な社長になつて、世界中を回つてみたい。そして、牧場を作つてくらしたい。老後は、外国に家をつくり、そこで、ゆつくりくらしたい。

山崎 ぼくは、世界的な社長になつて、世界中を回つてみたい。そして、牧場を作つてくらしたい。老後は、外国に家をつくり、そこで、ゆつくりくらしたい。



「卒業を祝して」

教頭 西川 規雄

ご卒業おめでとう。心からお祝いのご言葉を述べます。

皆さんは、昭和四十一年四月二日から四十二年四月一日までの間に生れた人たちばかりです。その頃から日本は世界の国々がびっぴりし、うらやましがり、ねたみさえした程の繁栄を始めた時でした。しかし、中東の石油値上げにより大変なショックも受けました。

今は漸く落ち着きを取りもどし、円の価値が高くなり、日本の経済力がうんと強くなった時に皆さんは小学校を卒業します。物質には大変恵まれていたが、経済的には大ゆれにゆれた時代を生きてきたのです。しかし、まだ幼くて心に残ることはなかったこととしましょう。遊んだこと、

幸福な人

担任 紺谷 博文

幸福な人になろう。これは誰でも求めることだと思ふ。唯一つ大切なことが忘れ去られて幸福を求めようとするから、結果として不幸になっている場合がある。唯一つのもの 人として生きるこれだけの言葉である。この言葉を忘れた総理大臣すら出てしまった事は恥かき捨てた日本と言われても反論できない。本当に人として生きようと思えるならば、こんな事件は起きなかつたはずである。

君達に願う、声大きいが故にけんかしたこと、楽しかったこと、悲しかったこと等が走馬燈のように駆けめぐるだけだと思ひます。

皆さんはこれから先、中学校、高等学校、大学、社会へと飛び立ちます。社会は大平ではありません。常に荒波が立っています。皆さんは人生の一つの大波を乗り越えただけです。まだまだ、次から次へと大波がやってきます。今までの波とは違ってひしひしと肌を感じたり、力でも乗り越えなければなりません。その波を乗り越えて大きく発展し新しい未来をきり開き、二十一世紀を力強く生きる皆さんであることを信じます。

これからの、ますます元気で学び続けられることを祈つて、お祝いのことは、はなむけのことばとします。

篠崎 朗子

月日の流れは早いもので大きなカバンを重そうに背負い、上級生の後を懸命に歩いていく後姿を見ては、学校でズボンのベルトができず泣いているのではないかしらと、あれやこれやと気をもんでからもう六年：長い様で短かい歲月が流れました。思い出せば数えられない程たのしい事、うれしい事、そしてつらい事など色々とうかんできます。勉強にそれから遠足、水泳大会、運動会、カルタ会学習発表会、そして想い出多い修学旅行など、先生と共にたのしくやっていた様子を見ていますと、ほんと

卒業にあたって

山崎 義雄

もう卒業ですね。口を開けられるだけあき涙をため、私の顔をジッと見ながら、両手を組み合せて、足を八の字に組んでなきじやうくっていたのが、私の時、君は本当に幸福な人になるための道を歩みはじめるのであろう。

幸福な人、それは君の心と態度の中にある事を忘れないでほしい。青い鳥を他に追いかけようとする人にならないように。健康に気をつけて中学校への準備をしよう。

さようなら



先生、友達、沢山の人の

六年間の思い出

高戸 治夫

うにうれしく思います。今日の激しい情報化時代にも流されず、日頃の先生方の熱心な教育のおかげでゆとりある小学生時代をくいなく送り、そして今、新しい中学時代へとすなおに入っていくてくれるに違いありません。



文字に書き表わせない程、お世話になりました先生方愛護会の皆様にも厚く御礼申し上げます。ほんとうにありがとうございます。

実感一言

高平 宣郎

本当に、月日のたつのは早いものです。いつの日か小さい女の子が、はたるの光、窓の雪明けてぞ、今朝は別れて、行く、胸にシーンときたことが、あります。

長女が卒業したのも、この間のように思っていたのが、早、次女も卒業です。私ども年老いていく感じがしてなりません。

六年間、自分の子供の受持の先生も知らずに終ってしまったという事を、よく耳にしますが、おかげさまで、学校役員も二、三度させて頂きました。今、考えてみると、せめて、役員でもやっていたら、先生方の顔も知らずに終ってしまったかも知れませんが、母親達は、よく、学校へ行くことはありますが、父親となると、本当に、子供生活、並びに成長なうに感じられます。こんなことでは、親と先生方との間に、みぞ、が出来るのも無理はないと思ひます。今後、もう少し、一ヶ月に、一、二回は父親と学校との会話の機会があったらと思ひます。

実際、役員として、学校に寄せていただく機会が多かつたので、今一層、新郷校をなつかしく思ひます。今後、やはり、学校生活での自分の子供達にも少し目をむけてやりたいと思ひます。

卒業生のみなさんへ

五年 東 真奈美

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この学校に入學されてから六年間、集団登下校、クラブ活動、委員会活動など先に立って活やくされ、わからない事があつたり、困った事があつた時など、親切に教えてくださった、助けてくださった、本当にありがとうございます。集団登校の時など、なかなかみんなが並ばなくて苦労をかいた事、校庭や神社や公民館で遊んで気ままに言つて困らせたり、いろいろな事で、卒業されていく皆さん、

の親切さが本当にありがたく思ひ出されてきます。私達は、六年生のみなさんに教えられた事を、しっかりと身につけてこの学校の伝統とほこりをしっかりと守つて行くつもりです。中学校へ行かれると、友達も多くなり、勉強でも大変な事かしくなると思ひますが他の友達に取れないようにしっかりとがんばつて、よい中学生生活を送つて下さい。

父親学級として

小木 安雄

愛護会の企画としてもうけられた父親学級も今年で二回目を迎え、去る二月十一日に催され、多忙の中であつた多くの御父兄の皆様が御出席下さいまして、授業参観に教育座談会に真剣に耳を傾けられ、御質問や御意見を述べられる姿を拝見してとてもうれしく思ひました。最近テレビや新聞等で御存じの通り少年少女の自殺や犯罪が著しく増加してきており、家庭教育、家庭環境などが問題にされています。親として子供の幸せを願わないものは誰ひとりいないと思ひます。そこで親として父親として一、二回は父親と学校との会話の機会があったらと思ひます。

最後に会員の皆様の御協力ありがとうございます。

